

第1回 地域連携推進会議 議事録

日時：令和8年1月27日（火曜日）

10：10～11：45

場所：グループホームさくらハウス リビング

1. 開催挨拶

開催にあたり、『地域連携推進会議の目的・内容・効果』について、説明し、地域連携推進員とともに共通認識を図る。（以下の通り）

★地域連携推進会議の目的について

- ①利用者との関係づくり
- ②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進
- ③サービスの透明性・質の確保
- ④利用者の権利擁護

★地域連携推進会議の内容について

- ① 4つの目的に沿った会議の開催による構成員との情報共有・意見交換
- ② 構成員の施設訪問による職員や利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認

★地域推進会議の効果

【入居者】より質の高い支援が受けられる効果が期待できる。

【事業所】地域との連携を深めることで、地域での運営がしやすくなる。

2. 出席者、構成員の紹介

・職員

【法人代表】 G

【管理者】 H

【サービス管理責任者】 I

・地域連携推進員

【入居者代表】 A様

（グループホームの入居者で、最も多く地域イベントへの参加した入居者代表）

【保護者代表】 B様

（グループホームさくらハウス、入居者保護者代表、〇〇〇から選出）

【地域住民代表】 C様

（〇〇〇町内会 会長 〇〇〇協議会会長、〇〇〇推進員）

【福祉知見者】 D様

（『障がい者グループホーム〇〇〇』の管理者、当ホームと同形態のグループホーム）

【経営知見者】 E様

(社会福祉法人〇〇〇元事務局長、数カ所の社会福祉法人の理事に就任)
【徳島市障害福祉課】 F 様 (欠席のため法人代表が名前のみ紹介)

3. 会議内容

① 施設概要

1. 事業所紹介

パンフレット参照にさせていただき、法人及び当グループホームの概要を説明。

ホームページについても案内しておく。(<https://hirugao-itanokikan.com>)

2. 入居者の日常生活について

生活の流れと日課の説明報告を行う。主な報告は以下の通り。

- ・ 食事提供については、調理後、2時間以内で行っている。
- ・ 入浴や食事の順番は固定せずに流動的に実施している。
- ・ 門限は特に設けていないが、23時を過ぎるようであれば電話連絡を行う決まりとしている。

3. 苦情に対する日頃の対応報告と苦情件数の報告について

入居者の要望、日常生活における意見は管理者が収集し、原則週1回実施している管理者会議にて報告。要望対応については、食事は翌週に実施できるように努めているほか、徳島市社協、B型事業所、相談支援専門員とも連携し対応する場合もある。

苦情 BOX (希望の箱) の件数は今年度から現在まで0件である。

4. 入居者、事業所に対する質問や意見など

地域連携推進員より A 氏に対する質問

○グループホームでの生活は楽しいですか？⇒色々行けるから楽しい。

地域連携推進員より事業所に対する質問

○表札などがあればよい。分かりにくいと感じた。

⇒郵便受けにはグループホーム名を記載している程度である。事業者としての思いは、地域の一員、一体として捉えてもらうように考えていて、看板は設けていない。

○グループホームでは調理など自分で行ったりしているのか。

⇒希望により実施することは可能であるが、入居者からのニーズはなく下膳する程度に留まっている。近々、障がい者支援において、本人の出来ないところを伸ばすことより、本人の強みを活かす支援が注視されており、権利擁護の観点からも本人の意向に沿う支援を提供している。一方、グループホームの機能、役割としてグループホームも仮の住居であり、生活習慣や生活技術の獲得の場であるため、行動面における社会規範の理解と責任、衛生面での予防的観点に立つて促しを行い、本人に納得してもらう方法で支援を展開している。例えば、衛生面で言えば、入浴を嫌う入居者に対して『水虫』の説明から入浴を促すな

ど、本人に気づきを与えて考え、本人主体で考えるように取り組んでいる。結果、3日連続して入浴しない入居者はいなくなっている。

② 地域との関係性づくり

地域行事への参加報告について

地域連携推進員のメンバーである A 氏は地域コミュニティ主催の阿波踊り連『佐古あいじつ連』へ初参加し同地域連携推進員の C 氏とも面識が出来たほか、別の阿波踊り連にも参加して、打ち上げにも参加して居酒屋で飲食も楽しんだことを報告。また、別の入居者は自発的に地域にある椎宮神社への清掃活動を行っていることも報告。

地域情報について地域連携推進員からの助言、提案

佐古地区には佐古コミュニティ協議会（佐古コミュニティセンター）があり、多くの情報を収集できる。例えば、南佐古八番町の自治会の現状、民生委員の名前なども情報収集できると思うので活用してはどうか。

地域発信について地域連携推進員からの助言、提案

地元の消防団との繋がりはどうか。消防団としてもここには、どんな方が住んでいて、どのような障がいを持っているのかも把握できると思うので、障がいの理解や啓発にも繋がるのではないか。

入居者代表（A 様）に対する質問

『佐古あいじつ連』の参加は楽しかったですか？来年も参加したいと思ってますか？

⇒最後まで踊ったよ、疲れなかった。TVにも出たしね。来年も参加したい。

5. 閉会挨拶

大寒の季節にもかかわらず、多忙のところ参集していただいたことに謝辞を述べ、定期的に会議は開催したい旨を伝え、引き続きご理解とご協力をお願いして閉会となる。なお、E 地域連携推進員より時期開催についても問われたため、C 地域連携推進員の日程調整が厳しい可能性があるため、C 地域連携推進員と調整して次回の開催案内を報告させていただくことで承諾を得ておく。

6. 閉会后、施設見学を実施

施設見学の際には、環境面や運営、障がい福祉制度の説明などに対する質疑に応じ、自由解散とさせていただく。